介護老人福祉施設 浴風会・南陽園の広報誌



行 日:令和3年11月20日 **行:**東京都杉並区高井戸西1-12-社会福祉法人 浴風会

介護老人福祉施設グループ

南陽 圖:Tel.03-3334-2159 / Fax.03-3334-1745 第二南陽圖:Tel.03-3334-2197 / Fax.03-3334-1748 第三南陽圖:Tel.03-3334-2193 / Fax.03-3334-2198

集:浴風会介護施設広報委員会

発行責任者:南陽園園長 植木 雄治



秋も深まり、今年は園庭の金・銀の木犀が何と

等で「つながるフェスタ特集」を発信しますので けには浴風会誌新年号や冊子作成、HP、WEB 染予防のため今年も開催できず残念ですが、年明 会ができるよう尽力してまいります。 てお会いできる面会室も計画中で、早く通常の 続きリモート面会をお願いしていますが、安心. す。認知症フロアの皆様には感染予防のため引き の言葉には、園側も格段の喜びを噛みしめていま 特養でも10月からご家族の直接面会を再開し、 ました。一方で、コロナ感染は第五波まで押し寄 アマネジャーの方々のご尽力のお蔭で、在宅でお た。コロナ禍の未曾有の厳しい状況でしたが、 しぶりの面会に涙を滲ませる場面に思わずもら せ、最近やっと落ち着きを取り戻しています。三 三度も可愛い花を咲かせ芳香を楽しませてくれ し、地域の方々と交流の絆を深めていますが、 い泣きです。「顔色も良くて変わりなく嬉しい」と さて、今年も残すところ1カ月余となりま また、例年10月には「つながるフェスタ」を開

来年こそ平穏な日常が戻り、皆様にとって安心

お知らせ

ボランティア募集!

傾聴や縫い物、クラブ活動、レクリエーションなど をしてくださるボランティアの方を探しています。

*お問い合わせは:各施設のボランティア担当まで

職員募集!

あなたのお力をお待ちしております

現在、契約職員を随時募集しております。より良い 施設づくりのために皆様のお力をお貸しください! お待ちしております。

- ◎介護福祉士の方: 時給 1,400円
- ○介護職員基礎研修・実務者研修の方: 時給 1.300円
- ○ヘルパー 2級・初任者研修の方: 時給 1,200円
- ◎資格のない方: 時給 1,100円
- *お問い合わせは:各施設の採用担当まで

ご意見をお寄せください!

内容に関するご意見ご感想をお寄せください。今後、 日常生活の様子やご利用者のお声などを引き続き 紹介していきます。皆様のお声をお待ちしています。

*編集担当:山口(南陽園)、佐藤(第二南陽園)、 熊本(第三南陽園)

〈各施設の連絡先〉

TEL:03-3334-2159 / FAX:03-3334-1745

第二南陽園

TEL:03-3334-2197 / FAX:03-3334-1748

第三南陽園

TEL:03-3334-2193 / FAX:03-3334-2198

ホームページ:http://www.yokufuukai.or.jp

敬老祝い会 お食事紹介

敬老の日は「多年にわたり社 会につくしてきた老人を敬愛 し、長寿を祝う。」日とされて います。つまり言い換えると、



年長の方やお年寄りの方を敬い、感謝を伝え る日。食事のおもてなしは、松花堂弁当。栗の お赤飯、銀だらの照り焼き、炊き合わせ(揚げ 茄子、ごぼう、しめじ 人参 オクラ)、だし巻 き卵、さつま芋の茶巾、くるみ和え(春菊)手ま り麩、水菜の清汁、奈良漬け、巨峰。季節の食 材を取り入れて、色とりどりに盛り合わせまし た。旬の食材で日本の四季を感じ、いつまでも お元気で過ごしていただきたいです。





●寒暖差のある毎日ですが、暖かい日には散歩をしながら四季を楽しむのもいいですね。 (山口)

- ●9月に敬老会がありました。私が担当するフロアの50名全員の年齢を確認したところ、 90代の方が1番多く23名、100歳以上の方は6名いらっしゃいました。これからも気持 ちよく過ごしていただけるよう頑張ります。(佐藤)
- ●休日は遠出をせず、地元商店街をブラブラと散歩しています。看板建築のお店や古民 家力フェ等を発見し、コロナ禍なりの休日を楽しんでいます。(熊本)

後 記

高井戸小学校 福祉講座を行って

昨年に引き続き、高井戸小学校の4年生を対象に、福祉の授業として「自分たちにできること~福祉~」をテーマに、体験を多く取り入れた福祉講座を行いました。

体験は、①車いす ②視覚 ③触覚の3つに分かれて行いました。

車いす体験は、2人一組で、「利き手の肘・膝が曲がらないようダンボールで関節を固定した利用者役」と「車いすを押す介助者役」になり、広い体育館で車いすを動

かしてもら



視覚体験では、視野の狭い眼鏡と手袋をつけ、封筒に入った手紙を取り出し読み、文字を書いてもらいました。



触覚体験では、視覚体験同様に 視野の狭い眼鏡と手袋をつけ、小 さい財布からおもちゃのお金を取 り出し、レシートの金額に合わせ てもらいました。



とても楽しまれながら体験をされていましたが、「年をとるとこんなに大変なんだ」「手袋をしているだけで、お金の出し入れが難しい」「年をとると本当にできなくなるの?」と話される児童も多くいました。

最後に、「ふ・く・し」とはなにか…。と質問をすると「**ふ**だんの**く**らしを**し**あわせに」と元気に答えてくれていました。そんな子供たちに、これから、少しでも介護に興味を持ってもらえたらと思いました。





